



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2014 **10**



9月17日(水)、兵庫県民会館にて、「災害対策委員会」を開催。16名が参加しました。西宮市民共済生活協同組合 常務理事 岸本 正 氏が「震災を振り返り今なすべきこと～防災は隣近所の助け合い～」と題して講演。防災クイズを交え、参加者の防災意識を色紙で確認しました。(関連記事 P. 3)



コープ自然派兵庫
専務理事

西村 明彦
(にしむら・あきひこ)

新センターの完成を前にして ～2014年度の課題と活動

今年度の事業活動では西宮市山口町への配送センター移転が最大の課題です。既存のセンターが開設から13～14年経過して老朽化し物的にも手狭になったため、約700坪の土地に2階建ての配送センター兼組織拡大事務所を建設中です。10月末に竣工、11月には移転の予定です。小規模ではありますが組合員活動室も併設するので、北部エリアの活動拠点としても活用していきたいと考えています。年明けには完成記念のお披露目フェスタも計画中です。

活動面では「農産物国産派」「食の安全」「平和」の3テーマが活動の柱になります。

2014年産米価の暴落、異常気象の日常化、担い手の高齢化、TPP（環太平洋経済連携協定）による輸入農作物の増加、と日本の農業をめぐる状況は危機的です。今年4月には農民作家として国内外の農の問題を見つめ続けてこられた山下惣一さんを招き講演会を開催しました。6月には豊岡市などで生産された「コウノトリ育む農法」のお米（米粉）を使用するコープ自然派パン工

房が神戸市西区に完成し、国産小麦100%の無添加パンの供給が始まりました。8月の集中豪雨で大きな被害を受けた丹波市市島地区の有機農家への応援はこれからの課題です。

「食の安全」に関して今年は原点に戻り、食品添加物の学習を進めています。先日は小藪浩二郎氏を招いて学習会を開催。理事会でも商品基準について学習と討議を行いました。遺伝子組み換えの問題では恒例となった神戸港周辺での組み換えナタネ自生調査を行なったほか、インドの環境活動家ヴァンダナ・シヴァさんの活動を追った「いのちの種を抱きしめて」上映会を計画中です。

最後に、組合員の暮らしを守る生協として、暮らしの基盤である「平和」が脅かされていることを見逃すことはできません。日本国憲法の意義と課題、「集団的自衛権」の意味、特定秘密保護法の問題点など、これまで取り組みが不充分だった平和にかかわる問題についても組合員とともに考える場を設けたいと思っています。

CONTENTS

- | | |
|--|--------------------------------------|
| 2. 想点 | 5. 単協通信 たじま医療生活協同組合／
神戸市民生活協同組合 |
| 3. 「災害対策委員会」報告／
「フェニックス共済」のお知らせ | 6. 協同組合のかけ橋 |
| 4. 「2014年度 第1回 東日本被災地支援活動」報告／
第17回「監事研修会」のご案内 | 7. 兵庫県のページ |
| | 8. 兵庫県からのお知らせ／赤い羽根共同募金／
県連日誌／編集後記 |

防災は地域コミュニケーションの強化 ～ 2014年度 災害対策委員会 を開催～

9月17日(水)、兵庫県民会館において、2014年度「災害対策委員会」を開催。兵庫県からは、企画県民部消費生活課 主査 河本 明子 氏、企画県民部防災企画局復興支援課 主査 香戸 伸介 氏にもご参加いただき、16名が参加しました。

冒頭、三宅専務理事の挨拶のあと、「震災を振り返り今なすべきこと～防災は隣近所の助け合い～」と題して、西宮市民共済生活協同組合 常務理事 岸本 正 氏（ひょうご防災特別推進員・兵庫県防災士会理事・総務省消防庁防災アドバイザー）より、地震の周期や津波発生のしくみ、防災グッズや備蓄、防災で大切にしたいことなどについてお話をいただきました。「地震が起こったら、姿勢を低く、体や頭を守って待つこと。机の下にもぐった際には、必ず机の脚をしっかり握っておくこと」「非常用の食料品などの備蓄は、“ローリングストック法”で、非常食を普段の生活で使用し、買い足して常に新しいものを常備すること」など、普段の身のまわりにあるもので、災害時の代用品になるものを見つけるヒントになりました。途中、「緊急地震速報」や「津波警報」などの防災無線を聴き比べたり、防災についての三択クイズに参加者が色紙で答える場面もあり、参加者それぞれの防災意識を知ることができました。

また、防災の重要点として「①非常時の備えではなく、普段からの備えを行う②助け合いの大切さ・地域コミュニケーションの強化③行政、地域住民、事業所の防災スクラム④防災対応力の向上・防災リーダーの養成」などを確認。“公助”“共助”に加え、地域の方々と支え助け合う“近助”の大切さを、改めて学びました。

最後に兵庫県と兵庫県生協連が2008年1月に締結した緊急物資協定の全項目および実施細目ほか、特に緊急連絡先についての確認を行いました。



講演される 岸本 正 氏



スライドでわかりやすく解説

自然災害から
「住まい」「家財」を
守る

フェニックス共済



フェニックス
サポーター
はぼたん

あの阪神・淡路大震災の教訓を生かし、県が実施している制度です!!

小さな負担で大きな支援

県内に住宅をお持ちの方の **住宅再建共済制度**

年額5,000円で最大600万円の給付

※市町が発行する「防災証明書」で、半壊以上の認定を対象



分譲マンションにお住まいの方も入れます

平成26年8月1日から **一部損壊特約** がスタート

ワンコインの上乗せ加入でさらに充実もって安心!!

★現在既に6万戸を超える特約加入。未加入の方はぜひこの際に!

※住宅再建共済制度とセットで加入ください。

一部損壊特約 年額500円で補修等に25万円の給付

※市町が発行する「防災証明書」で、一部損壊(損害割合10%以上20%未満)の認定を対象

県内にお住まいの方の **家財再建共済制度**

年額1,500円で最大50万円の給付

※市町が発行する「防災証明書」で、半壊以上又は床上浸水の認定を対象

借家(賃貸、社宅等)にお住まいの方も入れます

※加入申込書付パンフレットを、最寄りの郵便局や県民局・県民センター等に置いています。

マンション管理組合向けに共用部分の再建支援制度もあります。

問合せ先

(公財)兵庫県住宅再建共済基金

TEL.078-362-9400 (平日 9:00~17:00) フェニックス共済 検索

被災者に寄り添う継続した支援を…

～兵協連 2014年度 第1回「東日本被災地支援活動」報告～

会員生協の尼崎医療生協、神戸医療生協では、発災以来宮城県亘理郡山元町を中心に定期的、継続的な生活支援活動を行っています。兵庫県生協連では、9月12日(金)～13日(土)山元町花釜地区での支援活動に、宝塚医療生協の伊田こずゑさん、たじま医療生協の西垣善之さん、全労済兵庫県本部の村嶋勇祐さん、兵庫県生協連 三宅康平 専務理事、三輪薫 事務局次長の5名が参加しました。

9月12日夜、宿泊先のホテルに到着。神戸医療生協の6名の方々とともに翌日の活動の打ち合わせをしました。

13日午前、花釜地区の活動拠点の一つである「みんなのとしょかん」で、関西からの学生、他府県からの医療生協関係者、地元の県南医療生協ボランティアと合流。総勢67名の参加者は、県南医療生協の小山専務理事、岩佐理事のあいさつと現状報告の後、それぞれの活動に出発しました。

地域訪問活動は19組38名が被災者宅を一軒一軒訪ね、ご家族の健康状態や、困りごと、自治体への要望などを聞き取りました。

また、健康チェック活動は、ナガワ仮設住宅と牛橋区民会館の2か所で実施。昼食後、午前中の活動について参加者同士の報告と意見交換を行いました。

14時からは県南医療生協の渡辺さんの案内で、JR坂元駅跡、仙台市若林区荒浜地区、名取市閑上地区などの被災地へ視察に行きました。

発災から3年半がたち、復興速度の地域差や個人差が顕著になり、それに伴って困りごとや要望も多様化しています。震災を境に体調を崩された方がたくさんおられました。解決が困難なこともあります。被災地と被災者に寄り添い息の長い支援の必要性を感じました。



訪問活動前の打ち合わせ



訪問活動の報告を行いました



支援のみなさまと

兵庫県・兵協連共催

2014年度 第17回「監事研修会」のご案内

2008年に生協法が大幅に改訂され、組織運営の健全性を高めるために理事の責任を明確化にし、理事会および監事の権限の強化・確立することが求められました。

兵庫県生協連では、その取り組みの進捗状況や補強すべき課題などについて正しく理解いただくために、理事・監事および職員を対象に研修会を開催しています。今年度の「監事研修会」は、兵庫県より「指導検査」にもとづき具体的な指導をいただき、監事のみなさまに「監査実務」や「監査のポイント」を中心に研修を実施いたします。会員生協の理事、監事のみなさま、担当職員のみなさまのご参加をお待ちいたしております。

日 時：11月6日(木) 午後1時30分～4時

会 場：兵庫県民会館 3階 304号室

定 員：50人(申し込み先着順)

対 象：会員生協の監事および理事、ならびに担当職員

内 容：◆講演

「監事・監事会の役割と指導検査で見受けられる問題点」

講師：兵庫県企画県民部消費生活課

「決算書の見方と監査のポイント」

講師：兵庫県生協専門検査員 押田 大輔 氏(公認会計士)



2013年度 監事研修会

お申し込み・お問い合わせ：兵庫県生活協同組合連合会 TEL (078) 391-8634

たじま医療生活協同組合

「アレルギー講演会を開催」

7月29日(火)但馬空港ターミナルビルで、神戸医療生協いたやどクリニックの木村彰宏院長を講師に「アレルギー講演会」を開催しました。4年連続でアレルギー講演会を開いたのは、地域まるごと健康づくりをめざし、アレルギーに対する正しい理解を広め、アレルギーのある人もない人も、安心して生活できることを願うことです。学校・保育園など教育関係者、アレルギーの子どもの持つ親、組合員など77人が参加しました。講演会中は保育室を設け、



0～5才児13人を保育しました。講演会では正しい知識と対処法(特に食物アナフィラキシーが起きた時の危機管理やエピペンの実



技もしました)を学びました。また木村先生が参加者に直接質問し、その回答に対して丁寧に解説する場面もありました。

教育現場では、アレルギーや食物アナフィラキシーの子どもたちが増加しています。参加した教員の方は「アナフィラキシーの見極めや、起きた時の動き方を知ることができました。エピペントレーナーを使った実践も、いざという時に役に立ちます」と感想を述べておられました。

(通信員 春木 圭介)

神戸市民生活協同組合

「子育て応援フェア」で事業を紹介

8月23日(土)、神戸ハーバーランドデユオこうべにて、株式会社アズママ主催の『子育て応援フェア』が開催され、神戸市民生協も初めて参加し、子育て世代の方々へ「子ども共済」のPRを行いました。

「子育て応援フェア」は「子育てをもっと楽しくもっと豊かに」をコンセプトに、子育て世代を応援したい事業者や子育て支援者「ママサポーター」と各地の親子との出会いとつながりを提供する催しです。当日はワークショップや様々なステージプログラムが開催され、各ブースではスタンプリーのほか、子育て応援事業者によるPRも行われました。

とても暑い一日でしたが、会場は多くの親子連れで賑わいました。神戸市民生協も子ども共済のパンフレットのほか、オリジナルうちわや冷たい飲み物を配布しました。また、ステージでは組合の事業紹介のほか、午後の部では「生活まめちしき×クイズ」を開催し、参加者全員に優加賞と最後まで勝ち抜いた方には優



子どもたちもクイズで楽しく学べました

勝景品をプレゼントするなど、大いに盛り上がりました。

参加者の方々からは「手頃な掛金が魅力ですね」などのお声をいただきました。神戸市民生協では地域の子どもたちを守り支える、子ども共済の普及を推進しています。こうした催しを通じ、さらに多くの方々に神戸市民生協の共済を知っていただければと思います。

(通信員 鹿田 裕子)

JF 摂津播磨地区漁協青壮年部連合会

「平成26年度摂津播磨地区 漁協青壮年部連合会 視察研修会」開催 ～系統団体と海上交通について学ぶ～

摂津播磨地区漁協青壮年部連合会（大西 正起会長：JF 伊保）は9月2日（火）・3日（水）に視察研修会を開催し、同部員をはじめ系統団体職員など約30名が参加しました。



挨拶をする大西会長

これまでは県外の漁業関連施設を中心に研修を行ってきましたが、今年は「県内の漁協系統団体について理解を深めたい」との意見があったため、兵庫県水産会館において系統8団体から説明を受けることとしたもので、初めて兵庫県内のみでの研修となりました。

水産会館では、各系統団体が持ち時間20分の間に、組織概要や業務内容について話がされ、質疑応答では活発な意見交換がされました。「これまで知らなかった団体もあった」との声もあり、部員らは理解を深めたようでした。

翌日は、淡路市にある第五管区海上保安本部 大阪湾海上交通センター（MARTIS：マーチス）を訪れ、海上交通における安全対策について学びました。同センターでは、概要の説明を受けた後、明石海峡周辺の大規模船舶への航行管制や情報提供の業務について学んだほか、実際の監視モニターやレーダー画面、イカナゴ解禁日のレーダーの様子をまとめた映像などを見ることが出来、貴重な体験となりました。



航行管制について説明を受ける部員ら

JA 兵庫六甲

「農協市場館 マルシェ六甲」 オープン

JA 兵庫六甲榎谷支店併設の直売所「農協市場館 マルシェ六甲」が7月26日にオープンし、オープニングイベントをおこなった。

同直売所は、1999年に開設した「農協市場館 レインボーショップ 榎（はぜ）」と、6次産業化に取り組む「神戸牛（うし）牧場」（神戸市西区榎谷町）が新たに直営店として入店し、オープンとなった。従来の地元新鮮野菜や米の販売に加え、牛肉や豚肉を扱う精肉コーナーやコロッケ、ミンチカツ、焼豚などを扱う総菜コーナーを設置。精肉コーナーでは、来店者にゆっくり商品を見てもらえるようオリジナルショーケースを用いて、肉の選び方や食べ方など気軽に相談しやすい接客を目指す。

当日は同JAや直売所の代表者ら5名によるテープカットがおこなわれ、同JAの北畑 親昭代表理事組合長は「地元産の農畜産物や加工食品の魅力をしっかり伝えたい」と挨拶をした。9時の開店前から地域住民らが列をなし、開店と同時にトマトやトウモロコシ、ナスなど地元生産者による新鮮野菜や、サーロインステーキなどの肉を買い求めた。来店者からは「以前から直売所を利用していたが、新鮮な野菜だけでなく肉も買えるようになってうれしい」「孫が地元の野菜が大好きでいつも一緒に買いに来る」といった声が上がった。

【農協市場館 マルシェ六甲】

住所：神戸市西区榎谷町長谷334-1

TEL：078-992-9285

営業時間：9：00～18：00

定休日：木曜日・年末年始

店舗面積：約183平方メートル

駐車台数：45台（マルシェ六甲11台・榎谷支店34台）



代表者らによるテープカット



新鮮な農畜産物を買求める来店者



最近の消費生活相談事例

急増！パソコン遠隔操作による プロバイダ勧誘トラブル

事例

「料金が安くなる」と電話でプロバイダの乗り換えを勧誘され承諾した。事業者の指示通りにパソコンを操作すると遠隔操作状態になり、接続先プロバイダの設定変更など、以降の操作を事業者に任せた。後日届いた書類を確認すると以前より高い月額利用料になっていた。解約できるか。

【アドバイス】

最近、「プロバイダを乗り換えれば、利用料金が安くなる」と電話で勧誘され、パソコンの「遠隔操作」による設定変更を事業者に任せたところ、使用中のプロバイダから新たなプロバイダに接続先を変更する設定をされ、「余分なオプションを申し込んだことになっていた」、「解約を申し出ると解約料を請求された」などというトラブルが急増しています。

事業者に自分のパソコンを遠隔操作させると、契約内容の確認が不十分になりがちです。この事例の場合も、後日届いた書類を見てはじめて、初期費用がかかることや、説明を受けた覚えのないセキュリティサービスのオプション契約が付いていることに気づいたとのことでした。

電気通信サービス（プロバイダ契約を含む）などの契約は、特定商取引法の適用がないため、法律上のクーリング・オフ制度はありません。したがって、口頭の合意のみであっても一方的なキャンセルは難しいと考えられます。不審な場合は、契約前にきっぱり断ってください。なお、事業者に自分のパソコンの遠隔操作を任せることは、自分のパソコン内にある情報を事業者が見たり、自由に操作することを許すことになります。安易に操作を任せないようにしましょう。

もし、契約してしまった場合でも、事業者が虚偽の説明を行うなど、問題のある勧誘を受けた場合は取り消しができる可能性もあります。早めに最寄りの消費生活センターに相談してください。
(兵庫県生活科学総合センター)

MOVE

～兵庫県健康福祉部健康局疾病対策課からのお知らせ～

早期発見にはがん検診

- ・胃がん
 - ・大腸がん
 - ・肺がん
- 40歳以上の男女
- ・乳がん……………40歳以上の女性
 - ・子宮頸がん…20歳以上の女性

該当する方、是非、受診を

兵庫県の死因1位は、がん

昭和53年以降、本県の死因の1位はがんです。平成24年は、死亡者数全体の約30%をがんが占めていました。医学の進歩により、がんは早期に発見、治療すれば治る可能性が高くなります。がん検診を定期的に受けましょう。

お住まいの市町がん検診担当課または下記サイトへ。

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw12/hw12_000000101.html

ピンクリボンフェスティバル2014

ピンクリボンフェスティバルは、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えます。神戸では、10月18日にスマイルウォーク、19日にシンポジウムが開催されます。

詳しくはピンクリボンフェスティバル2014公式サイトまで。

<http://www.pinkribbonfestival.jp>

やさしさが 必ずとどく 赤い羽根



兵庫県共同募金会マスコット
あかはねちゃん

赤い羽根共同募金
10月1日(水)～12月31日(水)

共同募金の配分金は、
県内の地域福祉活動のために使われます。

◆
また、募金の一部は積み立てられ、
災害時の被災地・ボランティア支援に
使われています。

◆
あたたかいご協力をお願いします。

社会福祉法人 兵庫県共同募金会
www.akaihane-hyogo.or.jp

県連日誌

10月6日(月) 兵協連第3回理事会

第13回兵庫県企画県民部と

兵協連理事会との懇談会

(県民会館 1201)

10月9日(木) 2014年度兵庫県生活協同大会

(県民会館 けんみんホール)

10月27日(月) 兵協連 監事会(上期監査)

(兵協連事務所)

編集後記

この夏、ちよっと多忙にしていたので、久々に会った友人から「ちよっと痩せた?」と言われ、「♪」と思っていました。食欲の秋、到来!なんでも美味しくたべられる季節(?)になり、果物売り場を歩くのがさらに楽しみな今日この頃です。☆駅から事務所までの通勤途上の坂道の学校では、先生と生徒さんが落ち葉やゴミを掃除したり、校門前の道路に十数人の生徒さんが立って「おはようございます!」と挨拶をされています。目が合うと、少し恥ずかしそうな感じの生徒さんいますが、私もできるだけ元気よく挨拶をしようと思がけています。一日の始まりは、元気な挨拶から。心身ともに、元気な秋を過ごせるよう頑張ります。(中尾)

